

処方せんをもらう・手引き

【対象】 初級終了以上

【この課の目標】

- ・ 処方せんをもらい、院外の薬局で薬をもらうという一連の流れを知る。
- ・ 場所の尋ね方を身に付ける。
- ・ 薬の飲み方の説明を理解できるようになる。

会話

→病院の待合室でのお会計から、保険薬局での薬の受け渡しまでを一つとしてまとめた。

場所の聞き方、場所の理解、薬の使用方法的理解ができるよう、何度も繰り返し音読させる。

大切な語句

→この会話中に出てくる語句の中で、重要なものをいくつか選んだ。

絵の方が分かりやすいところは絵で、文の方が分かりやすいところは文で説明している。
一つずつコーラスしながら、確実に身に付けさせたい。

※なお、解熱剤、抗生物質に関しては、それぞれ専門的な用語であるので、解熱剤=熱を下げる薬、抗生物質=菌を消す薬等、分かりやすい言葉で説明をするとよいだろう。

大切なフレーズ

→最低限必要であろうフレーズを載せた。

練習 1

→場所の聞き方の練習をする。地図を見ながら、①～⑤が指している場所を選ぶ。初めに学習者に解かせ、後から一緒に答え合わせをするのがよいだろう。

薬の種類

→一般に使われている薬を、内用薬、外用薬、その他で分けて記載した。今まで使ったことのある薬や、どのようにして使ったのかなど学習者に質問しながら確認をしていく。

副作用とは

→ここでは、どんな薬を使っても起こりうるものだということ、あまりにもひどいようだったら、病院に相談するように伝えていただきたい。

練習 2

→図を見ながら説明文を読むことで、知識を定着させたい。①、②の例を見て、どんな薬をどのように使うのかを説明させる。

コラム

→おくすり手帳について載せてある。まず一読させ、初めから確認を行いながら、雑談をして頂きたい。